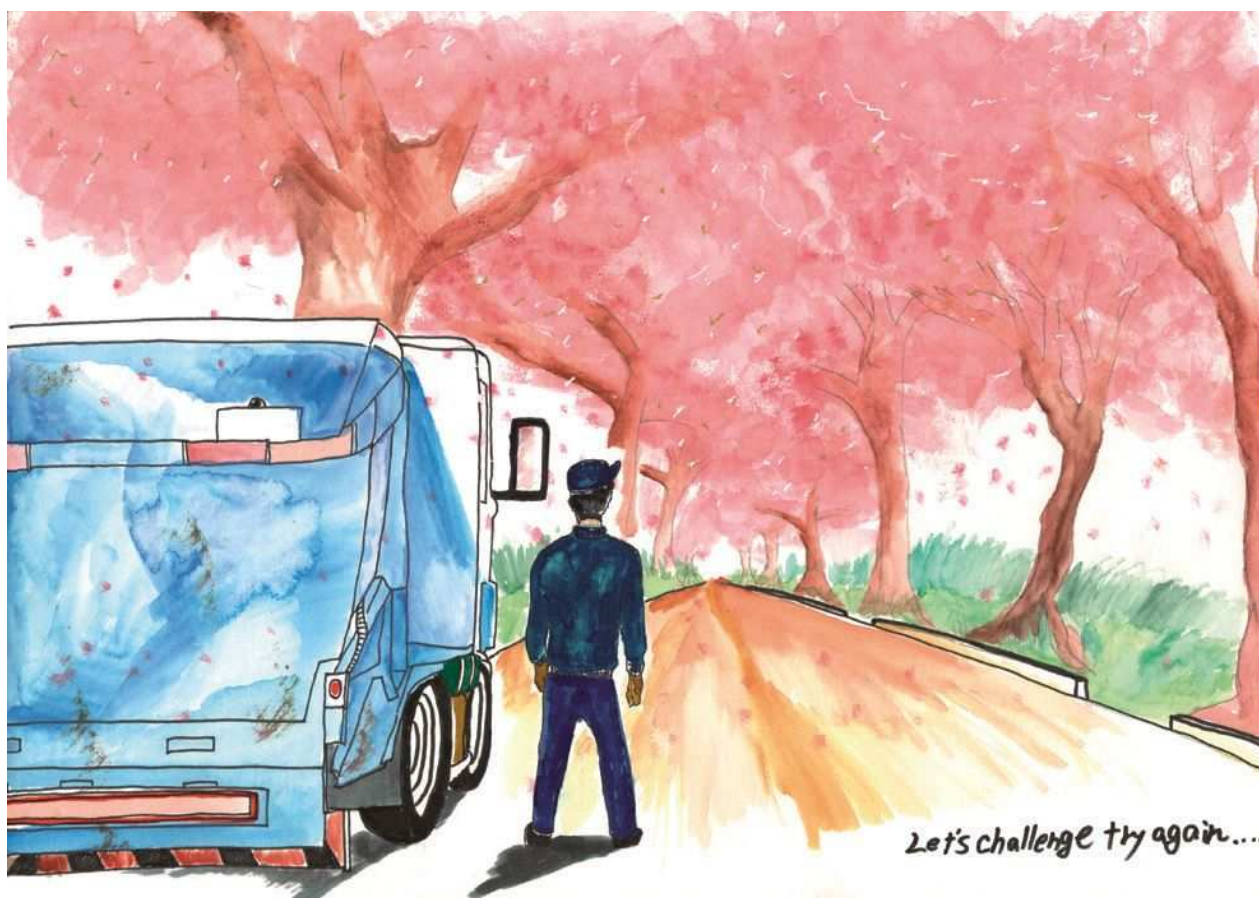




ゆたか福祉会キャラクター  
ゆたかめくとみらいちゃん

# 障害者の ゆたかな **未来** をめざして



「春の回収作業車」 トライズ 福吉 幸実さん ※紹介が12ページにあります。

## CONTENTS

- ▶ 私たちの実践 ～障害のある人の『働く』を支える～…………… P2～3
- ▶ 新年度を迎えるにあたって…………… P4
- ▶ 2022年度 ゆたか福祉会事業計画…………… P5～11

2022年4月10日 毎月1回10日発行 一部100円（法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます）

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会 〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3  
TEL 052-698-7356 FAX 052-698-7358 <http://www.yutakahonbu.com/>



愛知県ファミリー・  
フレンドリー・マーク

ゆたか福祉会

検索

シリーズ

私たちの実践  
障害のある人の「働く」を支える

## 第1回 ワークセンターフレンズ星崎

# 「就労移行支援の実践」①



【事業と定員】

生活介護	15名
就労継続支援 B型	15名
就労移行支援	6名
就労定着支援	

ゆたか福祉会は今年で事業開始

53年目を迎えます。広報誌ではこれまで、その時々状況に応じて連載を行ってきました。今回は「働く」をテーマに、比較的歴史の新しい特徴ある実践を紹介します。第1回目は「ワークセンターフレンズ星崎」の就労移行支援の取り組みです。

### はじめに

ワークセンターフレンズ星崎は、3つの日中活動をもつ多機能型の事業所です。それぞれの事業を同じ建物の中で近接して運営することで、利用者の方の意向や状況の変化にあわせて利用する事業を変更しやすく、生活介護を利用され

ていた方がB型、就労移行を経て

今では企業で働かれています。事例もありません。今回はゆたか福祉会で唯一運営している就労移行支援事業に焦点をあて、今月と来月の2回にわたって報告します。企業就職というひとつの選択肢について考える契機になれば幸いです。

### ■就労移行支援とは？

就労移行支援とは、企業への就職を希望される障害のある方に対して、模擬職場での就労体験や学習の機会等を提供し、就労に必要な知識や能力の獲得をサポートする事業のことをいいます。利用に際しては、原則2年間という期限があり、利用者の方はこの2年の

間に支援者と協力しながら就職を

目指していきます。利用開始から就職までの大まかな流れとしては、①特徴の把握↓②事業所内でのトレーニング↓③事業所外での就労体験↓④就職活動↓⑤採用前の実習↓⑥就職↓⑦その後の定着支援となっています。

### ■アセスメント

就労移行の支援において、最も大切なのはアセスメントと呼ばれる利用者の方の特徴をきちんと理解・把握することです。こういったことが得意か苦手かなど職業適性に関する確認や、どのような条件や配慮があれば働きやすくなるかなどの環境面について検討を行いま

す。また実際に様々な仕事や作業

を体験していく過程を通じて、支援者のみならず利用者本人にも実感をもって自身の特徴を知っていただき、その中で対処法と一緒に考えていきます。こうした「体験を通じて実感する」という点が課題に対して自立して取り組んでいくためには非常に大切です。アセスメントに際してはやみくもに何でも確認するのではなく、障害者職業総合センターが提供する「就労移行支援のためのチェックリスト」を活用し、体調不良時の対処や身だしなみ、あいさつ、報告、作業態度、速度や持久力など就労に必要な項目を中心に確認していきます。

### ■職業準備性の向上

アセスメントとともに、企業就職に向けて職業準備性の向上を目指す取り組みも欠かせません。職業準備性とは、「就労をはじめめるための準備が整っている状態」のことを指し、この向上を図っていくことで

安定して働いていける下地を作っていきます。この職業準備性向上のためのプログラムは、カフェでの接客を訓練に取り入れているところや、プログラミングやwebデザインなどの専門性の高いスキルを旨せる講座があるところ、公文的学習を取り入れているところなど事業所によって多種多様なアプローチやプログラムがありますので、自分の希望や状況にあったプログラムが提供されている事業所を探する必要があります。

## ■概要と支援内容

● 2013年7月に移行支援事業を立ち上げ、開設以来のべ30名の方が利用され、20名の方が企業就職を果たしました。この20名の内、4名の方は元々フレンズ星崎のB型を利用されていた方で、事業所内に移行支援があることで、B型の利用者の方にとっても就職を目指しやすい環境にあると思います。現在定員は6名で実際に利用いただいた方は7名（男性3名、女性

4名）になります。

● B型現場が企業から受注しているDMのセッティング作業（例書類を封筒に入れる、宛名シールを貼る、郵送先ごとに仕分け、紐で結束する等）を訓練プログラムの中心としています。この仕事には、比較的簡単な工程に加えて高いスキルや理解力が必要な工程もあり、利用者の方のレベルに合わせて仕事を提供することが可能です。仕事の提供に際しては、利用者の方にとって簡単な作業とならないように、あえて難しい工程に挑戦いただくことや目標タイムや作業量の設定を行うことで、それぞれが手ごたえを感じられるような仕事となることに留意しています。日常の訓練の場面から練習ではなくリアルな仕事に触れていることで、納期や品質への意識を高めることができ、入社後のギャップを減らせていると思います。実際企業に入社してからすぐに退職となるケースはほとんどなく、入社後6か月以内

の継続率を示す定着率という指標も100%（直近5年）です。

● 基本的なビジネスマナーやコミュニケーションの講座に加え、自己理解やストレスマネジメント等、就労していく上で身に付けておいた方が望ましい知識習得のため、定期的に学習会の場を設けています。学習会の運営は属人的な部分が多いので、人事異動などによる支援員の交代も念頭にいれ、全国的に就労移行支援事業所を展開されているLITALICO社と契約し、同社の研修資料を活用して均質的な教育が行える体制を整えています。

● 利用者の方は、元々は知的障害の方が多かったのですが、最近では精神障害や発達障害の方の利用や問い合わせが増えています。そのため、数年前と比べると利用されている方の能力やニーズが全く違っていることも多く、その都度その時々利用者像に合わせて訓練プログラムを見直しています。最近では、事務職志望の方が数名いるので、基本的

なPCスキルがあることの証明になるMOS資格の取得を目指すためのプログラム等、PCに関する訓練を増やしています。

## ■まとめ

企業への就職を目指す上で、必ずしも就労移行支援を利用する必要はないかと思えます。ただ、就職後のミスマッチを防ぐことや長く安定した就労生活を送っていくため、自分自身とじっくり向き合うことが出来る就労移行支援に通う期間が必要な方も多くいらっしゃると思います。私自身、これまで仕事で多くの失敗をし、そこから多くの学びを得ることができてきました。失敗や挫折があるからこそ、成功や喜びがあるのだと本当に思います。これからも勇気をもって就職を目指そうと決意して我々のもとに来てくれる方々のため、安心して挑戦が出来る環境や雰囲気をつくり、その取り組みの輪を広げていければと思います。

就労支援員 荒木雄太

（次号へ）

# 新年度を 迎えるにあたって



理事長 鈴木清寛

新型コロナウイルスの第6波の感染拡大では、ゆたか福祉会でも多くの仲間や職員、家族の方が感染されました。引き続き、感染の予防や発生時の対策を強化し、仲間や関係者の「命と生活を守る」ことを最優先の課題として取り組んでいかねばなりません。

また、連日テレビ等のマスコミで報道されている、ロシア軍プーチンによる無法で常識を逸したウクライナ侵攻は、映像を見るたびに胸が張り裂けるような辛さに襲われます。戦争から逃れている難民が国内外で1000万人を超えているといわれます。

この人々は、命の危機に襲われながら、飲み水も食料も電気もない中での避難生活を余儀なくされているとのこと。私はこの異常事態が進行する中で、障害者や家族の皆さんがどうしているのか心配なりません。ウクライナには、認定された270万人の障害者がいると言われていました。また、8万2千人の障害者が施設に暮らしているとのことです。

戦争は世界と我が国の歴史からも明らかに、激しい差別や命の危機をもたらします。平和でこそ、障害者と家族の権利や幸せが守られます。「戦争反対」を強く叫びたいと思います。私たちにできることは何でもする構えで、ゆたか福祉会の全関係者が行動に立ち上がることを呼びかけます。

新年度はこうした激動の情勢の中でスタートしましたが、今年度はゆたか福祉会が策定した「第6期総合計画」(5か年)の中間年にあたります。計画に掲げた諸課題の一層の推進と具体化を、関係者の協力と協同によって実現していきたいと思えます。

とりわけ、福祉村から名古屋へ移行した仲間を主に受け入れる地域生活支援拠点事業所としての「まーぶる」の開設と運営を軌道にのせること。定員削減後の新しい福祉村の将来計画の策定と具体化をすすめること。

コロナ感染で滞っていたベトナムからの人材受け入れを進めていくこと。ゆたか福祉会でもっとも事業が集中し、多くの障害者のみなさんが暮らしている元塩・星崎地域での事業の再編と拠点の整備についての検討などが重点課題となります。

また、持続可能な地域や社会に変革するための目標として、国連が定めた「SDGs」の取り組みについても、法人事業の歴史や理念・ビジョンとの関係で意義を深め、法人としての具体的な目標や計画を検討していくこと。実践的には、ゆたか福祉会とともに生きてきた仲間や家族のみなさんの進んでいる高齢化に向け、引き続き必要に対応をすすめていくことがあります。あわせて延期をしていた「ゆたか福祉会50周年」関連の諸事業についても、今日の状況をふまえて具体化していくことも検討しています。

以上のように多様な課題を抱えた一年になります。すべての関係者が力を合わせ、一歩一歩着実に取り組んでいきたいと思えます。

2022年度

# 法人事業計画

## はじめに

2年前に始まった新型コロナウイルス感染症の流行は依然収束の兆しを見せていません。この間、法人では150名を超える関係者(利用者・家族・職員)がウイルスに感染し、その何倍もの人たちが濃厚接触者となり、長期の療養や自宅待機を余儀なくさせられました。

感染した方の多くは健康を取り戻しましたが、2名の利用者がその影響で亡くなられたほか、重篤な健康被害や後遺症に悩まされている方も少なくありません。新型コロナウイルスは決して軽微な感染症ではありません。こうした大きなリスクが潜んでいることをしっかりと踏まえ、引き続き感染予防対策に取り組んでいかなければなりません。

しかし、長引く流行により、楽

しい交流の場や行事・余暇など利用者の活動も大きく制限されてきました。職員の会議や研修も対面での開催が激減し、相互のつながりや議論の希薄化など、様々な矛盾を内包してきています。

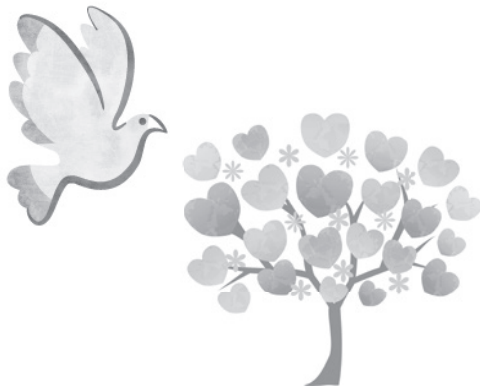
感染拡大から3年目を迎える今年、感染予防とともに、コロナのために失ってきた様々な活動や交流の機会を少しずつ取り戻していく年にしていきたいと思います。

特に、今年が法人の「第6期総合計画(20年〜24年度)」の中間年となります。新型コロナウイルス感染症の流行とともに初年度がスタートするという厳しい状況下でしたが、福祉村から名古屋への移行計画やベトナムでの人材育成など、重点課題に掲げたいくつかの取り組みを推進してこることができました。

しかしその一方で、十分に取り

組めなかったものや未着手のままになっている計画もたくさんあります。中間年にあたる今年はそうした諸課題に取り組むとともに、6期計画の中間点での整理や見直しを行うていくこととします。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、おびただしい数の一般市民が犠牲になっています。障害のある人や高齢者の多くも安全な地域に避難することができず、死と隣り合わせの恐怖のなかに置かれています。この非道な侵略行為を今すぐ止めさせるために、日本や世界中の人たちと連帯していきたいと思っています。



## 1 新型コロナウイルス感染症発生時の「業務継続計画(BCP)」をもとに対策を徹底していく

(1) 感染が発生してもその拡がりを最小限にとどめる事前の対策を徹底していきます。

\* 健康観察の継続的な実施や、手洗い・うがい等の基本的な感染防止対策の徹底、食場面での飛沫防止対策などを重視して取り組んでいきます。

\* 感染のリスクが発生した場合は、早めに自宅待機や医療機関への受診・受検を行うとともに、行動歴等の情報収集を行い初動対応に備えていきます。

\* 感染を外へ拡げないために、関連事業所等への迅速で的確な情報提供を行います。

(2) 感染が発生した際の対策を強化します。

\* 迅速で適切な行政検査を保健所に求めていくとともに、必要に

応じてキットを用いた自主検査を併用し、感染の全体像を把握しながら対策を具体化していきます。

\* 感染に関する情報を関係者が共有できるように、同報メール等を活用していきます。

\* 管理者へ業務が集中しないよう、感染対応業務を任務分掌し対策にあたります。

\* 感染発生事業所に対しては、法人全体で応援体制を組織し実施していきます。

\* 2次感染を発生させないために、事業所なかかわの療養スペースを積極的に活用していきます。

### (3) その他

\* 感染状況に応じて会議や行事等の取り組みのガイドラインを適宜見直し、感染予防と活動の両立をめざしていきます。

\* 利用者・家族に対する、感染情

報や防止対策に関する情報発信を強化します。

\* ワクチンの接種は本人の意向を尊重しつつ、その効果や副作用等の情報を収集しつつ、接種についての周知や環境整備を行います。

\* 適切な行政検査やワクチン接種の実施、感染者が安心して療養できる場所の確保、感染発生による収入減への補償等について、引き続き国・行政に要望を行っていきます。

## 2

### 第6期総合計画の 重点課題等に関する 取り組み

#### (1) 新しいグループホームと地域生活支援拠点事業の開始

\* 新しいGH（まーぶるホーム）で利用者を順次受け入れ、その運営を軌道に乗せていきます。

\* GHまーぶる利用者の日中活動や余暇活動の充実に取り組んでいきます。

・ 日中の活動先 GHまーぶる  
ゆたか作業所 みらいる みのり共同作業所 デイサービス宝南等

\* 「地域生活支援拠点まーぶる」として、関連機関と連携しながら体験利用や短期入所（緊急利用含む）の受け入れを行います。

#### (2) 福祉村の将来構想の検討と実現

\* 第二ゆたか希望の家で、ながらの利用者の受け入れ準備をすすめていきます。

・ 23年度からの受け入れをめざし、機械浴棟や新しい居住棟を建設します。

・ 2施設の統合化へむけ、支援内容の交流や管理運営体制の検討を行っていきます。

\* 地域交流のエリア（グループハウスなぐら）の今後の事業展開について検討をすすめます。

・ 地元行政や関係団体との懇談も重ね、22年度中には将来構想をまとめます。

#### (3) ベトナムからの人材の受け入れと連携事業の推進

\* 6名の受け入れと就労・居住（生活）・学習環境の整備をすすめます。

・ 新型コロナウイルスの感染状況によっては6名が同時期に来日する可能性もあります。



### 3 事業と実践の推進

#### (1) 権利擁護・虐待防止の取り組みの推進

- \* 法人・各事業所の「権利擁護虐待防止会議（身体拘束適正化委員会）」の定期開催をはかります。
- ・ 運営規定の見直しや「身体拘束適正化指針」の整備（21年度）を受け、規定や指針に沿った対応を進めていきます。また、その推進のための学習企画を4月職員研修会で設けます。
- ・ 利用者・家族の聴き取りやアンケート調査の内容を分析し、支援における課題や対策について検討を行います。
- ・ 愛光園事件に関する第三者検証委員会の「最終報告書」を検討し、今後の対策に活かしていきます。
- \* 「権利擁護・虐待防止会議」では、利用者・家族から申し出のあつ

\* 優生保護法問題や障害者総合支援法の見直しに関する要望活動に取り組みます。

\* ロシアのウクライナへの侵略に強く抗議し、武力行使の即時停止とウクライナからの撤退を求めていきます。また、戦争により被災し難民となった障害者・高齢者の支援活動に取り組みます。

\* こうした課題と直結するテーマとして、憲法改正の問題についての議論を深めていきます。

#### (7) 50周年関連事業

- \* 記念行事関係
  - ・ 開催予定から2年を経過しましたが、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、行事のあり方を再度検討していきます。
  - \* 記念誌や実践のまとめを活用し、職員研修会（9月・1月）なども活用しながら、50年の事業や実践の到達を法人全体で共有する企画を設けていきます。

#### (5) 持続可能な地域や社会に変革するための目標Ⅱ「SDGs」の取り組み

\* 法人事業の歴史や理念・ビジョンとの関係でSDGsに取り組むことの意義を深めていくとともに、法人として取り組む具体的な目標や計画を検討していきます。

・ 昨年発足した「SDGs検討委員会」の活動を更に発展させていきます。

・ まず4月職員研修会で、SDGsについての学習企画を設けます。

#### (6) 障害者や高齢者のいのちや暮らしを守るための運動の強化

\* 新型コロナウイルスの感染拡大でより顕在化した公衆衛生施策の貧寒さ、社会的弱者へし寄せと家族依存による問題解決、日割り報酬単価問題等の改善と転換に向けての取り組みをすすめます。

福祉村配属の技能実習生2名、フ工科大学1期生2名（技能実習生2名ゆたか希望の家配属）、2期生2名（特定技能2名GH配属）

・ 事業所まかせでなく、法人として全体的なサポート体制を確立していきます。

\* 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、職員のベトナム研修（3法人連携）の実施について検討します。

#### (4) 元塩・星崎地域にある事業所の活動や機能の整理と再編の検討

\* 検討のための体制を確立し、各事業所や地域の現状と課題を整理しつつ、第6期計画に掲げた中長期のビジョン（高齢化や重度化への対応、地域とつながり地域とともに生きる活動）とも関連させながら検討をすすめます。

・ 必要に応じ地域の関連団体との懇談を設けるとともに、GHエールの隣地の活用方法も含めて検討をすすめます。

た「苦情」についても議題として取り上げ、その解決方法について検討を行うようにします。

**(2) 高齢期を迎えた利用者一人ひとりにふさわしい暮らしと活動の保障**

\* 障害と高齢分野との連携を深めるため、相談支援事業と居宅介護支援事業の連携や合同会議をさらに重ね、両事業の一体化（総合相談の窓口設置）について検討をすすめます。

\* リハビリ委員会の活動を再開し、作業所やGH等への定期的な訪問や機能訓練の提供を行うなど、医療的なケアやリハビリ機能の強化をすすめます。

\* デイサービス宝南での「共生型生活介護」の実践を更に深めます。

\* 高齢期に関する実態調査のまとめ・製本化を、22年度内に実現していきます。

**(3) 日中活動部門の事業や実践の推進**

\* 左記のテーマに関し、必要な検討会や会議を開催し、現状や課題の整理を行うとともに今後の方向性を整理していきます。

- ・ 生活介護における実践のあり方
- ・ 清掃関連事業の今後の展開
- ・ サビ管業務の内容の統一

\* 業務（現場）日誌や支援記録、請求ソフトの導入について引き続き検討をすすめていきます。

**(4) 地域生活支援の事業や実践の発展**

\* 通勤寮（宿泊型自立訓練事業）の今後のあり方について、名古屋市との懇談も行いながら検討を行います。

\* 地域生活支援拠点での、「日中一時支援事業」の開設について検討・準備していきます。

- ・ 日中一時支援の内容 平日夕方方の預かりや、土日のクラブ活動・イベント活動等の余暇支

援、夕食・入浴の提供等の家族レスパイトの強化

\* まーぶるホームの、「日中支援型グループホーム」への移行と、単独事業所化について準備していきます。

\* 事業所尾張の、新しいGHの建設について検討していきます。

**(5) その他**

\* 20年度に緑区平手に新たに購入した土地（245坪）の活用方法の検討を続け、22年度中に最終案をまとめていきます。

\* リサイクル港作業所の大規模修繕工事を実施します。

・ 22年3月入札実施↓23年度5月頃から工事開始予定

**4 人材の確保と育成**

**(1) 人材の確保**

\* 新規学卒者の人材確保に取り組みます。

・ 10名以上を採用目標とします。

・ 新型コロナの感染が続くなか、オンラインとともに対面も含め多様な形で「ゆたか」の魅力が伝わるよう工夫していきます。

・ 新たにスタートする社会福祉士相談援助実習やインターンシップの取り組みを充実させ、「出会い」と「つながり」を広げる取り組みを進めます。

\* 転職希望者の採用にも取り組みます。

・ 新規学卒者の採用状況を見ながら、有料職業紹介事業の活用も行い、転職希望者の採用にも取り組みます。





\* 海外人材の確保

・引き続き、ベトナムからの人材確保の取り組みを推進していきます。

## (2) 職員の育成

\* 「経営理念」「わたしたちのめざすもの」と「ゆたか福祉会キャリアパスシステム職務基準」

(2011年度作成)を意識しながら、一般職員研修としての基礎研修と、主任研修を開催します。

・4月に入職する正規採用職員は初任研修として位置付け、オリエンテーションも含め5日間の研修を行います。また新規学卒者のOJT状況をこまめに把握し、必要な手立てが行えるよう援助担当者会議等の充実を図ります。

・基礎研修はPART I・PART II、主任研修は新主任研修・フォローアップ研修として開催し、経験年数に応じた継続する内容で行います。

\* 非正規職員の皆さんや10年以上の正規職員を対象とした研修のあり方を検討します。

\* 職場で人が育つしくみづくりを重視します。

・自事業所の成り立ちや歴史、実践を学びつつ、実践課題を通して人が育つような職場運営・組織づくりをめざします。また中間総括や年度総括会議等を活用し、その成果を職員集団で共有することを大切にします。

・法人内外を問わず、研修での学びを参加者が自事業所にフィードバックできるように取り組みを位置づけます。

・実践力を高めるために内外の人材を活用し、学習に努めます。

\* 次代を担う管理職の育成をすすめます。

・「業務引継書」の作成を行い、前任者と後任者の引継ぎが円滑に進むようにします。前任者は後任者の状況を踏まえつつ、計画的なフォローアップに努めます。

\* 新管理職研修は新所長と新副所長を対象に定期的に対面で実施します。内容は労務や財務

に関わる実務や基礎的理解を深めるものと、事業運営の基本や組織づくりに関わる実践的なものに大別して行います。またそれぞれの職責に応じた開催や合同開催、年度を越えた合同研修や分野別等、より近い立場で学び合いやフォローアップができるように工夫します。

・担当者打ち合わせを重視し、内容の充実に努めます。年間計画を立案し、より系統的で実践的な内容で行うことができるよう講師集団のブラッシュアップを図ります。

・外部研修に参加し、自らの管理者としてのスキルアップが図ることができるよう必要な情報提供を行います。

・管理職研修は新管理職研修の経験を踏まえながら、学び、語り合うことのできる対面研修を検討します。

\* 50周年の実践のまとめの活用と研究の推進

・記念誌や実践のまとめ、映像等を職員育成のツールとして活用します。

・テーマに応じて、実践を振り返り、今後の課題を語りあう機会を検討します。

5

人事労務管理の推進と  
労働条件・労働環境の改善

(1) 労働条件の改善・整備に  
取り組みます。

\* 「福祉介護職員処遇改善特例交付金」を活用し、全ての職員に対し手当の支給や時間給の改善を行っていきます。

・ 10月以降は報酬改定により実施していくとされており、その動向を踏まえ対応してまいります。

\* 定年制の見直しやエリア採用職員制度の検証を行ってまいります。

・ 23年度からの国家公務員の定年延長の開始に合わせ、22年度中に法人としての考え方をまとめ、23年度から実施していただけるようにします。

・ エリア採用職員制度6年目を迎える今年、職員アンケート等を実施し、制度の評価や今後の課題について検証してまいります。

(2) 勤怠管理・給与計算実務の  
合理化をすすめます。

\* 「年次有給休暇」と「子の介護看護休暇」管理のシステム化を全事業所で実施し、休暇の付与や消化漏れを無くす体制を作っていきます。

\* 新しい給与システムにより、「給与支給明細書」のペーパーレス化と業務の効率化を進めていきます。

(3) 職員の悩みや不安を軽減し  
サポートする体制整備を  
進めていきます。

\* 新しい産業医（セイルズ産業医事務所）の活用・連携と安全衛生委員会の機能強化をすすめます。

・ 健康不安や悩みを抱える職員のための相談窓口（社外健康管理室こころめいと）の活用を促すとともに、メンタル療休者の職場復帰にあたって体制やプログラム の確立をはかります。

\* ハラスメント対策の強化をはかります。

・ ハラスメント対策委員会の機能強化をはかるとともに、ハラスメントを許さない職場づくり、一人一人の存在や意見を「尊重」し合える職場づくりに取り組んでいきます。

(4) 事故防止の取り組みを  
すすめます。

\* 新型コロナウイルスの感染拡大が長期化するなか、利用者の不調に伴う事故も増加してきています。こうした特徴も踏まえながら、安心と安全な労働環境づくりをすすめていきます。

(5) 就業規則 第4章  
「職員の規範及び服務規律」  
部分の見直しを行います。

6

経営組織・運営機構の強化

(1) 理事会・評議員会等の  
活動強化を図ります。

\* 理事会・評議員会、運営協議会の定時開催を行い、法人事業の推進をはかるとともに、多様な観点からの事業の検証と発展をめざしてまいります。

\* 23年5月の役員改選へむけて、新しい体制の検討と準備をすすめていきます。

(2) 会計監査法人による監査への  
対応をすすめます。

\* 監査で指摘された事項についてその都度理事会へ報告し、その見直しを通して組織や運営の改善につなげていきます。

(3) 国税不服審判所の  
採決を受けて今後の対応を  
検討してまいります。



(4) 法人の中長期のビジョンを実現するための財政や組織機構についての検討をすすめていきます。

\* 法人財政の現状と課題について分析をすすめます。

\* 法人本部機能の強化と、今後の事業発展のための組織機構・人事制度のあり方について検討を行います。

\* 第6期総合計画に関する中間点での検証と見直しを行います。

(5) 災害対策の強化をはかります。

\* 自然災害発生時の「業務継続計画（BCP）」（現行）の見直しを行うとともに、「非常災害対策計画」の策定を行います。

\* 引き続き、地域の消防団や自治会、関連団体との連携をすすめていきます。

(6) その他

\* 共同墓地の今後の運営について、家族会とともに検討をすすめます。

## 2022 年度当初予算書

勘定科目		前年度予算	2022 年度予算	増 減
事業活動 による収支	介護保険事業収入	124,002,873	129,310,000	5,307,127
	就労支援事業収入	356,180,869	360,040,735	3,859,866
	障害福祉サービス等事業収入	2,569,854,010	2,635,152,653	65,298,643
	公益事業収入	5,721,600	6,500,000	778,400
	収益事業収入	12,180,000	12,180,000	0
	借入金利息補助金収入	829,373	1,333,350	503,977
	経常経費寄附金収入	13,941,136	9,880,000	-4,061,136
	受取利息配当金収入	110,245	105,209	-5,036
	その他の収入	75,162,741	28,989,400	-46,173,341
	事業活動収入計 (1)	3,157,982,847	3,183,491,347	25,508,500
	人件費支出	2,113,184,868	2,172,082,378	58,897,510
	事業費支出	311,244,024	326,355,931	15,111,907
	事務費支出	281,684,081	266,399,200	-15,284,881
	就労支援事業支出	335,964,406	343,283,545	7,319,139
	支払利息支出	3,732,703	4,161,717	429,014
	その他の支出	19,927,390	21,464,400	1,537,010
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
	事業活動支出計 (2)	3,065,737,472	3,133,747,171	68,009,699
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	92,245,375	49,744,176	-42,501,199
施設整備 による収支	施設整備等収入計 (4)	314,304,354	56,701,932	-257,602,422
	施設整備等支出計 (5)	657,112,009	381,389,169	-275,722,840
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	-342,807,655	-324,687,237	18,120,418
その他の 活動収支	その他の活動による収入計 (7)	580,763,650	330,051,600	-250,712,050
	その他の活動支出計 (8)	336,414,242	92,841,600	-243,572,642
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	244,349,408	237,210,000	-7,139,408
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)		-6,212,872	-37,733,061	-31,520,189



2月

- 2日(水) 研修部会議
- 5日(土) 理事会・運営協議会
- 8日(火) 強度行動障害者支援者養成講座「基礎研修」  
～9日(Web)
- 14日(月) 事業運営推進会議
- 16日(水) 新副所長研修  
権利擁護・虐待防止会議
- 18日(金) 新所長研修
- 23日(水) 所長会議
- 24日(木) 2022年度正規採用職員オリエンテーション(エリア)  
事務員研修
- 25日(金) 2022年度正規採用職員オリエンテーション(総合職)
- 28日(月) 研修部会議

一般寄附(3月)

成田 一春 学校法人明星学園  
堀 鉦三 明星幼稚園  
中藺 加奈

賛助会員新規加入者・更新者(芳名一覧)

川上 啓子

(3月9日～3月31日 手続き分)

※利用者・保護者・職員の方から  
多くのご寄附をいただきました。

順不同敬称略

ありがとうございました

表紙の作者紹介

「春の回収作業車」

トライズ 福吉 幸実さん

トライズに入職されてからもうすぐで3年が経ちますが、若いながらもベテランのような頼もしさがあり、現場のムーディーメーカーです。集中して描くその絵のクオリティの高さにはいつも驚かされます。

4月といえば“春”。春といえば“桜”ですが「桜以外で何かないかなあ」と色々考え、“回収作業車”が登場しました。桜と回収作業車のダイナミックさが描かれていますが、そんな中でも「別れもあれば出会いもある季節」だと感じることができる作品になっています。

～編集委員会より～

福吉さんの絵が初めて表紙を飾ったのは2020年1月号。雪から白川郷をイメージしての作品でした。2回目は同年4月号。桜の景色をイメージされ、桜の木の下で煙草をすっているご本人も描かれています。3回目は同年11月号。夕焼けの風景と「にんげんっていいな」の歌を連想しクマさんが行んでいます。

急なご依頼にも関わらず、今回も素敵な作品をお寄せ頂き、ありがとうございます。いつも優しさ溢れる作品と出会い、心がホッとする編集スタッフです。



広報・471号

2022年4月号(2022年4月10日発行)

定価1部100円

法人協力会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会

印刷 / 株式会社東海共同印刷

法人協会の会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協会の会費 = 年間1口6,000円、  
賛助会員(個人1口3,000円、企業団体等1口5,000円)

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884  
・中京銀行 鳴海支店 普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会

# ゆたか福祉会 事業一覧

一人ひとり主人公。  
みんなの夢が  
息づく場所です！

## 法人本部

法人本部 ☎ 052-698-7356  
ゆたか障害者福祉研究所

## 名古屋事業本部

ゆたか作業所(南区) ☎ 052-692-3531  
みのり共同作業所(南区) ☎ 052-612-6237  
リサイクルみなみ作業所(南区) ☎ 052-612-5391  
トライズ(南区) ☎ 052-825-4022  
ふれあい共同作業所(南区) ☎ 052-613-2479  
ワークセンターフレンズ星崎(南区) ☎ 052-824-4450  
なるみ作業所(緑区) ☎ 052-878-6921  
ゆたか希望の家(緑区) ☎ 052-878-6912  
つゆはし作業所(中川区) ☎ 052-353-3175  
リサイクル港作業所(港区) ☎ 052-382-1933  
みらいろ(港区) ☎ 052-382-3200

## 相談支援事業本部

緑区障害者基幹相談支援センター  
障害者相談支援センターみどり(緑区) ☎ 052-892-6333  
地域活動支援センターしかやま(緑区) ☎ 052-892-6006  
ゆたか相談支援事業所どうとく(南区) ☎ 052-692-3539  
相談支援事業所ゆたか通勤寮(南区) ☎ 052-611-7789  
相談支援事業所ゆたか希望の家(緑区) ☎ 052-878-8776  
ゆたか相談支援事業所あおなみ(港区) ☎ 052-382-1991

## 尾張事業本部

あかつき共同作業所 ☎ 0568-25-0171  
あかつきヘルパーステーションはなキリン  
ゆたか生活支援事業所尾張  
ケアホーム徳重 ☎ 0568-22-8587  
ケアホーム北野 ☎ 0568-68-8844  
ケアホームあかつき ☎ 0568-54-2700

## 福祉村事業本部

第2ゆたか希望の家 ☎ 0536-65-0370  
グループハウスなぐら  
デイサービスなぐら【高齢】  
生活サポートセンター名倉【相談】 ☎ 0536-65-0372

## 名古屋高齢事業本部

ケアサポート宝南  
デイサービス宝南 ☎ 052-618-0205  
グループホーム宝南の家 ☎ 052-613-5081  
ケアサポート宝南【相談】 ☎ 052-613-6055

## 地域支援事業本部

ゆたか通勤寮 ☎ 052-611-7781  
ライフサポートゆたか【ヘルパー事業所】 ☎ 052-825-4404  
ゆたか生活支援事業所なかがわ  
つゆはし板倉ホーム ☎ 052-354-0678  
上脇ホーム ☎ 052-352-3266  
あおなみホーム ☎ 052-355-9339  
サテライトあおなみ  
ホームみらい ☎ 052-383-5580

## ゆたか生活支援事業所みなみ

グループホーム エール ☎ 052-619-6052  
エールI・エールII  
ホームみのり ☎ 052-612-9480  
元塩ホーム ☎ 052-614-4691  
サテライト元塩 I・II  
第二八光荘 ☎ 052-612-3986  
まーぶるホーム ☎ 052-691-0161

## ゆたか生活支援事業所かさでら

第1かさでらホーム ☎ 052-618-7171  
第2かさでらホーム  
ひいらぎホーム ☎ 052-611-6955  
粕島ホーム ☎ 052-824-9590  
ひろめホーム

## ゆたか生活支援事業所なるお

ほしざきホーム ☎ 052-825-4359  
ゆたか鳴尾寮 ☎ 052-613-3021  
鳴尾ホーム ☎ 052-611-3588  
第一八光荘 ☎ 052-614-4345  
わかばホーム ☎ 052-614-2785  
あさがおホーム ☎ 052-613-5606

## ゆたか生活支援事業所みどり

大清水ケアホーム ☎ 052-876-8820  
なるみホームひまわり ☎ 052-893-7575  
かきつばたホーム ☎ 052-680-7777  
みずひろホーム ☎ 052-715-8336

## ゆたか生活支援事業所あつた

第1ホーム白鳥 ☎ 052-671-0067  
第2ホーム白鳥  
第3ホーム白鳥  
第1ゆたかホーム太陽 ☎ 052-691-4004  
第2ゆたかホーム太陽  
明治ホーム

# ゆたか福祉会

## 事業所マップ

### 【記号の説明】

- \* 日中活動施設・作業所
- 🏠 グループホーム
- ♣️ 生活施設
- 🌸 高齢者事業所
- \* ヘルパー事業所
- 📞 相談事業所

**名古屋市の事業所一覧**

- 中川区:** 上脇ホーム、つゆはし板倉ホーム
- 熱田区:** ホーム白鳥
- 瑞穂区:** グループホーム宝南の家、デイサービス宝南、ケアサポート宝南
- 天白区:** リサイクルみなみ作業所、ワークセンターフレンズ星崎
- 港区:** リサイクル港作業所、みらいる、ホームみらい
- 南区:** 法人本部、ゆたか作業所、ライフサポートゆたか、あおなみホーム、ホームみらい、まーぶるホーム
- 緑区:** なるみホームひまわり、かきつばたホーム、みずひろホーム、大清水ケアホーム
- その他の事業所:** ゆたか相談支援事業所あおなみ、ゆたか相談支援事業所どうとく、ゆたか通勤寮、ふれあい共同作業所、トライズ、地域活動支援センターしがやま、障害者相談支援センターみどり、なるみ作業所、ゆたか希望の家

**北名古屋市**

- ケアホーム徳重
- ケアホーム北野
- ケアホームあかつき
- あかつき共同作業所
- あかつきヘルパーステーションはなキリン

**設楽町**

- グループハウスなぐら
- デイサービスなぐら
- 第2 ゆたか希望の家
- 生活サポートセンター名倉

**南区** 南区にあるグループホームのみ表記しています。

- 第1ホーム太陽
- 第2ホーム太陽
- 明治ホーム
- まーぶるホーム
- 名四国道
- 元塩ホーム
- ホームみのり
- 第二八光荘
- あさがおホーム
- 第一八光荘
- 粕島ホーム
- かさでらホーム
- ひろめホーム
- ひいらぎホーム
- グループホームエール
- 鳴尾ホーム
- ゆたか鳴尾寮・わかばホーム
- ほしぎきホーム